

## 実践⑦ 瀬戸内町立図書館

### 1 はじめに

瀬戸内町立図書館・郷土館は、平成6年7月に開館し、今年で28年目を迎えた蔵書冊数11万冊（令和4年4月現在）を超える公立の図書館である。

場所は、本町の中心である古仁屋市街地から東へ少し離れた海辺に近いところで、警察署や消防署に隣接している。少し不便な立地ではあるが、市街地の喧騒から離れ読書するには最適な環境といえる。

館内は、児童書や一般書、ブラウジング（新聞・雑誌等の閲覧）、島尾文学コーナー、山田洋次児童文庫等があり、おはなしのへやでは絵本や紙芝居等を親子でゆったりと楽しめるようになっている。また、2階の郷土館との複合施設という特色を生かし、郷土資料室と学習室には本町出身の文学者（昇 曙夢）等の貴重な著作物等を多数揃えている。

また、本館へなかなか来館できない利用者への対応として、加計呂麻島と本島を隔週で4日間ずつ移動図書館車で巡回している。

### 2 子供の読書活動を推進する取組

#### (1) ブックスタート事業

子育て支援の一環として、赤ちゃんの7ヶ月健診時に子供たちに絵本の楽しさを知ってもらい、親子で絵本を通して心豊かな時間をもつきっかけを作ることを目的に、職員が事業の説明を行い、絵本を2冊手渡している。（平成29年度から実施）

##### \*事業の効果\*

- ・ 各家庭でも絵本を読む機会が増え、親子のふれあいをもつ時間ができた。
- ・ 配布した絵本を活用し、親子で何度も読み返している様子が伺えた。
- ・ 図書館を利用する親子が増えた。

#### (2) 小さい子のおはなし会

乳幼児を対象に、親子のふれあいの時間や絵本に対する興味をもってもらうことを目的に、わらべうた、絵本や布シアター等の読み聞かせを実施している。また、ブックスタート事業で配布した絵本の効果的な使い方も紹介している。

（平成30年度から実施）

##### \*事業の効果\*

- ・ ブックスタート事業の効果も合わせて、図書館を利用する親子が増えた。
- ・ 各家庭でも絵本を読む機会が増え、親子のふれあいをもつ時間ができた。



【小さい子のおはなし会】

#### (3) セカンドブック事業

保健福祉課と図書館とが連携した事業として、3歳児検診に併せて案内を送付し、検診後の日曜日にお話会を実施している。約20タイトルの絵本の中から子供たちに好きな絵本を選ばせ、1冊をプレゼントしている。（平成30年度から実施）

##### \*事業の効果\*

- ・ 「セカンドブックのおはなしの会」に参加するきっかけになり、図書館を利用する親子が増えた。



【高校生ボランティアによるおはなし会】

#### (4) セカンドブックのおはなし会

3歳の子供を対象に絵本の楽しさを知ってもらい、親子で絵本を通して心豊かな時間をもつことをすすめる活動を目的としたおはなし会を偶数月に開催している。

(平成30年度から実施)

##### \*事業の効果\*

- ・ 絵本に接する機会が増えることで絵本に興味をもち、絵本を読む機会が増えた。

#### (5) 出張おはなし会

学校や保育園等の読書旬間や学校行事に関連した依頼を受けて、図書館職員がパネルシアターやアニメーション等の読み聞かせを行う。(令和元年度から実施)

##### \*事業の効果\*

- ・ パネルシアター等を通して本に興味を持ってもらうことができた。



【出張おはなし会：篠川保育所】



【出張おはなし会：古仁屋小学校】

#### (6) 図書館・郷土館まつり

10月27日～11月9日の「読書週間」、11月1日～11月7日の「文化財保護強調週間」には、子供から大人まで楽しめる催し（ブックリサイクル、職員のおすすめ本展示、プレゼント抽選会、演奏会やおはなし会、昔の遊び体験等）を実施している。

##### \*事業の効果\*

- ・ 昔の遊び体験（草笛や虫かご作り）等、今ではなかなかできない体験を通して、図書館・郷土館への興味関心をもってもらえた。
- ・ ブックリサイクル、抽選会等で図書館にある絵本に興味をもってもらえた。
- ・ 普段できない体験を通して興味をもち、図書館に来る機会が増えた。



【がじゅまるバンドによる演奏会】



【昔のあそび体験】

### 3 おわりに

新型コロナウイルスの感染が広がり始めた3年前に比べると徐々に規制が緩和されつつあるが、今年も町内で予定されていた各種行事やイベントが延期や中止となり、大人はもちろん子供達でさえ先行き不透明な情勢に不安を感じている。

このような中、これまで本館が取り組んできた子供達への読書活動が評価され、「令和4年度子供の読書活動推進優良図書館」の表彰を受けることとなった。

受賞を励みとして、子供の読書活動への取り組みを継続していくことは勿論のこと、これからはさらに「学ぶ意欲を持ち、豊かな自己実現を目指して生涯を通じて学び続ける人づくり」に資する拠点施設として、また、住民から求められる「図書館」としての役割を果たすために、利用者の意見等も取り入れながら、読書活動推進に取り組んでいきたい。